

森林環境保全基金事業実施箇所調書

実施年度

R3年度

事業名	甲斐の木づかい推進事業				
補助対象	社会福祉法人ゆうゆう すみよし愛児園				
事業の目的	山梨県産材を使った机・椅子を導入することで、木のぬくもりを伝える教育環境を整備するとともに、山梨県産材の利用を促進する。				
内容	施設名	備品名	数量(組)	補助金額(円)	備考
	すみよし愛児園	机・椅子	16	480,000	
事業の実施状況	<p>【導入後の感想】</p> <p>(保育教諭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・その木ならではの木目、色、触感に子ども達が触れることができる。また自分の好みやその日の気分で選ぶこともできる。 ・子ども達の過ごす環境が整えられただけでなく、在園している家庭や入園見学の家庭等にも、このような環境を見たり感じてもらうことで、子ども達にとってどんな環境がいいかを考えてもらうことができる。 ・県産材を使っているという点でもより身近に感じてもらえる。 ・今回作成していただいた業者さんのカタログに園の考えや環境をのせていただいた。多くの園や学校等に見ていただくことになった。 				
	<p>【使用状況】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> 				

森林環境保全基金事業実施箇所調書

実施年度

R3年度

事業名	甲斐の木づかい推進事業
補助対象	社会福祉法人多幸福社会 認可保育所令和にこにこ園
事業の目的	山梨県産材を使った机・椅子を導入することで、木のぬくもりを伝える教育環境を整備するとともに、山梨県産材の利用を促進する。

内容	施設名	備品名	数量(組)	補助金額(円)	備考
	令和にこにこ園	机・椅子	4	120,000	

【導入後の感想】
 (保育教諭)
 ・軽くて扱いやすい。
 ・安定感があるので子どもたちが使っても安全である。
 ・肌触りが良い。
 ・ヒノキのいい香りがする。
 ・いろいろな形に組み合わせができるので応用が利く。
 (園児)
 ・にこにこ園のマークがかわいい
 ・すべすべしてる。

【使用状況】





事業の実施状況

森林環境保全基金事業実施箇所調書

実施年度

R3年度

事業名	甲斐の木づかい推進事業				
補助対象	株式会社ウブントウ 認定こども園ウブントウ富士の森				
事業の目的	山梨県産材を使った机・椅子を導入することで、木のぬくもりを伝える教育環境を整備するとともに、山梨県産材の利用を促進する。				
内容	施設名	備品名	数量(組)	補助金額(円)	備考
	ウブントウ富士の森	机・椅子	48	900,000	
事業の実施状況	<p>【導入後の感想】</p> <p>(保育教諭)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ランチルームに行くと木の温もりとひのきの匂いにいやされます。 ・見学のお客様がいらっしやると全員が素敵なテーブルといすですと声をかけてくれます。 <p>(園児)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごはんを食べるのがうれしい。 ・木のいい匂いがする。 ・作ってくれた方にありがとうをいいたい！。 				
	<p>【使用状況】</p>  				
					

		実施年度	R 3 年度	
事業名	森林体験活動支援事業	助成団体名	山梨大学教育学部附属中学校	
事業の目的	子どもたちが、森林の中で様々な体験活動を行い、森づくりの重要性や必要性を学ぶことで、将来にわたり森林を守っていく心を育む。			
内容	活動場所	活動日	活動内容	参加人数
	富士山科学研究所、富士山御中道	7月9日 10月22日	富士山周辺の自然観察、御中道散策	152名
事業の実施状況	<p>【事業実施による効果】</p> <p>富士山の夏と秋の森林の変化を観察する森林体験活動とともに富士山がもたらす恩恵や災害について学習した。2回の森林体験活動から学んだことを各自「富士山新聞」にまとめたところ、富士山に限らず身近な環境を含め、豊かな自然を後世に残していくために、自分にできることは何なのかと考える生徒が多くいた。</p>			
	<p>【活動状況】</p>   			

		実施年度	R3年度		
事業名	森林体験活動支援事業	助成団体名	石和東こども園		
事業の目的	子どもたちが、森林の中で様々な体験活動を行い、森づくりの重要性や必要性を学ぶことで、将来にわたり森林を守っていく心を育む。				
内容	活動場所	活動日	活動内容	参加人数	交付金額（円）
	愛宕山こどもの国	11月25日	フィールドビンゴ、森の色探し等	40名	39,000
事業の実施状況	<p>【事業実施による効果】</p> <p>自然の中で過ごし、その空気感を味わう自然体験により、子供達の五感を刺激し、好奇心を育み、子供達はその美しさに感動していた。また、森のビンゴゲームなどを通して、自然にふれあい、親しみ、自然への関心を深めることができ、子供達は自然がもっと好きになった。</p>				
	<p>【活動状況】</p>  				

		実施年度	R3年度		
事業名	森林体験活動支援事業	助成団体名	丹波山村立丹波中学校		
事業の目的	子どもたちが、森林の中で様々な体験活動を行い、森づくりの重要性や必要性を学ぶことで、将来にわたり森林を守っていく心を育む。				
内容	活動場所	活動日	活動内容	参加人数	交付金額(円)
	大菩薩峠、村内森林、奥秋キャンプ場等	5月24日 ～3月9日 計8回	登山体験、森林被害の学習、ネイチャーゲーム等	65名	294,001
事業の実施状況	<p>【事業実施による効果】</p> <p>森林に囲まれた自然環境を背景に生活する生徒達が、森林付近の川やキャンプ場で自然体験活動を小学生と合同で行ったところ、生徒達は小学生と協同して活動に取り組み、自然体験を通して自然にふれることの楽しさや自然との関わりの必要性を学ぶとともに、ふるさとの良さを知る機会にもなった。</p>				
	<p>【活動状況】</p>  				